

## 高次脳機能障害

交通事故や脳血管障害などの病気により、脳にダメージを受け、記憶障害、注意障害、失語や感情のコントロールができないなどの障害が引き起こされるものです。

症状は脳のどの部分にダメージを受けたかにより様々ですが、後天的な障害のため、これまで出来ていたことが出来なくなったことに対して、本人も周囲も戸惑うことが多くあります。

※ 高次脳機能障害に関する相談

障害者総合支援センター（ウェルポート）など………P.32～参照

## 必要な配慮等

- 記憶に障害があり、少し前のことを忘れてしまう場合は、言葉だけでなく、仕事のスケジュールや指示などは書面で渡す、メモを利用する。
- 集中力が続かない場合には、こまめに休憩を設定し、複数の仕事を一度に頼まない。
- 失語があり、物の名前を思い出すのに苦労しているような場合は、実物や写真、絵カード、文字などで確認する。
- 仕事などの段取りや予定を立てることが難しい場合には、手順書を利用したり、段取りを掲示するなど、行動の手がかりを用意する。

## こんなことで困っています

- ◆ 仕事の予定や約束を忘れてしまうため、「あてにならない」と上司に叱責された。
- ◆ 外見から障害があることが分かりにくいいため、「嘘をついているのではないかなど誤解されやすい。
- ◆ こだわり、怒りやすい、我慢できないなど感情のコントロールが難しい症状について、元々の性格じゃないかと言われ、理解してもらえない。
- ◆ 失語があり、頭の中ではわかっているが、物の名前が言えなくなったり、間違えて言ったりしてしまうため、言いたいことを伝えられない。
- ◆ 長い文章で話しかけられたり、一度に複数の用件を言われても理解できないことがわかってもらえない。
- ◆ 優先順位を考えて、仕事の予定を考えたり、段取りすることが難しい。

